

令和5年 6月 1日

大津保育園地域子育て支援センター“ひばり”

0547-39-5951

月曜日から金曜日 10:00~15:00



体調を崩しやすい時期です。手洗いやうがいを丁寧にやっていきましょう。

5月8日からコロナウィルス感染症が5類に変わったことから、マスクの着用は各個人の判断にお任せします。

月	火	水	木	金
			1	2
5	6	7	8	9
12	13	14	15	16
ベビー マッサージ ★	あかちゃん 講座★		お話ギフト	
19	20	21	22	23
ベビー マッサージ ★	まめっちょ お話会			
26	27	28	29	30
	お話広場			

★の付いたものは、予約が必要です。何も印がない日は、自由解放です。

★ベビーマッサージ

10:15~

持ち物：バスタオル

あかちゃんの飲み物



★赤ちゃん講座

10:00~

持ち物：母子手帳

バスタオル

お話ギフト

図書館の方によるお話です。

どなたでも♪



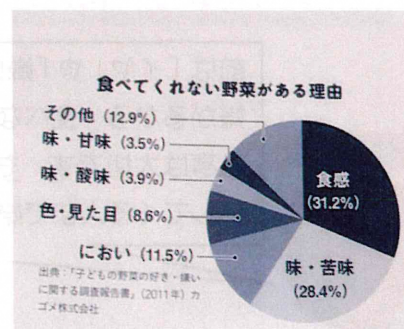
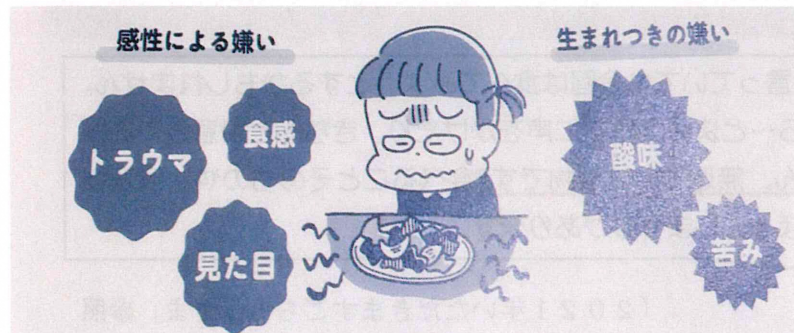
まめっちょお話会

10:15~ どなたでも♪

お話広場

10:15~ どなたでも♪

どうして「好き」「嫌い」があるの？ 嫌いなものができるわけ



人には生まれた時から、「苦味＝毒を含んでいる危険な食べ物」、「酸味＝腐敗した危険な食べ物」と認識する本能が備わっています。このため、味覚が未発達で食の経験が浅い子どもの多くは、苦味と酸味が苦手です。反対に「甘味（エネルギー源となる糖）・塩味（体液のバランスを保つナトリウム）・うま味（たんぱく質を構成するアミノ酸）」などは、生きるうえで必要な栄養素の味。本能的に好む傾向があるのです。

一方、ぐにゃぐにゃしてイヤ、どろっとして気持ち悪い、見た目が嫌いなど、感性による好き・嫌いは、3歳頃から特に見られるようになります。味覚とは関係なく、骨や種を取るのが面倒くさいなどの理由で「嫌い」という事もあります。また、「食べたあと、たまたま気分が悪くなった経験があり、それ以来食べられなくなった」、「友だちが「嫌い」と言ったのをかっこいいと感じてまねした」など、思いがけない理由で「嫌い」という事もあります。

「嫌 い」への対応



前は「イヤ」や「嫌い」と言っていたけど今回は食べてみようとするかもしれません。嫌がるから…食べないから…と決めつけずに声をかけたり、きちんと用意してあげる事は大切です。もちろん、無理強いは禁物です!! 食べることそのものや、無理強いしてくる人まで嫌いになってしまう事があります。

ひばり



「2021年いただきますごちそうさま」参照